

沖縄で豚流行性下痢が発生

7年ぶりの国内発生です！

【概要】

発生場所：沖縄県本島中部地域

発生戸数：1戸

発生頭数：哺乳豚155頭（うち約75頭死亡）

発生日：H25年9月2日～

確定日：10月1日

豚流行性下痢ってどんな病気？

原因：豚流行性下痢ウイルスの感染で発症します。

発生：日齢や季節にかかわらず発症しますが、若齢豚は重症化しやすく死亡率が高くなります。糞便や経口、経鼻感染で伝播します。

臨床症状：食欲不振、元気消失、水溶性下痢

10日齢の哺乳豚では、激しい嘔吐、黄色の水溶性下痢、脱水で高率に死亡。

対策：ワクチン接種による予防

日頃から、人・車両等の出入り制限と出入り時の消毒徹底

豚舎内・器具機材の定期的な消毒と乾燥

導入豚の隔離観察など

国内外の状況：国内発生 2006年 香川県 1戸

海外発生 2010年中国、2013年アメリカ(18州、828件)

飼養衛生管理基準の再確認、飼養家畜の臨床症状等の的確な観察、異常発見時の早期通報など、引き続き、防疫対策をお願いします。

家畜の病気に関するお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018 または090-5568-0817